

# 行政視察報告

委員会名	文教委員会												
視察日	令和元年5月13日(月)												
視察先	福岡県柳川市												
視察委員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">峯岸良至 委員長</td> <td style="width: 33%;">大高拓 副委員長</td> <td style="width: 33%;">高木信明 委員</td> </tr> <tr> <td>平田みつよし 委員</td> <td>牛山正 委員</td> <td>上村やす子 委員</td> </tr> <tr> <td>中村しんご 委員</td> <td>うめだ信利 委員</td> <td>鈴木信行 委員</td> </tr> <tr> <td>つたえりな 委員</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	峯岸良至 委員長	大高拓 副委員長	高木信明 委員	平田みつよし 委員	牛山正 委員	上村やす子 委員	中村しんご 委員	うめだ信利 委員	鈴木信行 委員	つたえりな 委員		
峯岸良至 委員長	大高拓 副委員長	高木信明 委員											
平田みつよし 委員	牛山正 委員	上村やす子 委員											
中村しんご 委員	うめだ信利 委員	鈴木信行 委員											
つたえりな 委員													

調査項目	学力向上の取り組みとアトリスの実施について
事業概要	<p>柳川市では、生涯学習社会の構築に努め、普遍的で個性豊かな文化の創造、郷土に誇りと愛着の持てる地域社会の形成に資することを目指し、教育施策を推進している。</p> <p>学力向上に向けた取り組みでは、授業における学習指導方法改善を推進しており、研究指定校選定による指導方法の工夫、学習ノートの継続指導や国語科教育の充実のほか、外国語教育の充実に向けて、英語能力判定テストの実施や中学1・2年生全生徒を対象に実施している英語のスピーキングテスト・アトリスを小学校5・6年生においても一部実施するなど、さまざまな施策に取り組んでいる。</p>
視察内容	<p>(1) 学力向上の取り組み</p> <p>ア 重点的取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係、リーダーを育てる教育活動</li> <li>・夢や希望をはぐくむ郷土(ふるさと)学習</li> <li>・特別支援教育の充実</li> <li>・たくましく生きる子どもを育てるための理解と体験の場の充実</li> </ul> <p>イ 特色ある取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の移行措置に基づく指導(アトリスの実施など)</li> <li>・教育研究所と小中学校長会の連携プロジェクト研究と発信</li> <li>・国語科教育充実プロジェクト(授業づくりQ&amp;Aの作成)</li> <li>・定期考査問題改善推進プロジェクト</li> <li>・家庭教育充実プロジェクト</li> </ul> <p>ウ きめ細やかに対応する指導体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査問題検討会の実施(中学校)</li> </ul> <p>エ 教育課程内外における補充学習の組織的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階における家庭学習ノートの開発</li> </ul> <p>(2) 英語スピーキングテスト・アトリスについて</p> <p>ア 事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初は小学生を想定していたが、中学生も要請して作成した。</li> <li>・インタビュー形式のスピーキングテスト</li> <li>・読む、書く、聞く、話すの4観点の具体化</li> <li>・ALTが実施し、ALTが評価(ALTは柳川市に8名配置)</li> </ul> <p>イ 課題と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成目標の明確化と授業改善に向けた指導者の意識改革</li> <li>・指導者によって成果が分かれるが、意識づけはできている。</li> <li>・学校全体データの傾向、個別の客観データによる指導の見直し</li> <li>・パフォーマンス評価の客観性</li> <li>・児童・生徒のコミュニケーション能力のチェック</li> </ul> <p>ウ 今後の取り組み</p> <p>パフォーマンステストへの移行検討(新学習指導要領に向けた評価プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く、読む、書く、話す(やりとり)、話す(発表)の評価</li> <li>・ALTによるインタビューで、そのやりとりを教員が評価する。</li> </ul>
主な質疑内容	<p>(問) 定期考査問題検討プロジェクトは県立高校入試傾向の変化により改善していくとのことだが、現場の先生方の反応はどうだったのか。</p> <p>(答) 議論は各学校で起こったが、子ども達に確かな進路を実現させるというのも各中学校の中核的な思いなので、各中学校でほぼ達成しつつあると考えている。</p> <p>(問) 中学校学力アップ支援事業非常勤講師は、どのように配置して、どのように活用をしているのか。</p> <p>(答) 基本的に各中学校に1~2名、非常勤で週当たりの指導時数10~12時間くらいを目途に配置し、チームティーチングの充実、枠外指導などを行う。</p> <p>(問) 授業づくりQ&amp;Aは、若い先生方にどのように使っていくのか。</p> <p>(答) つくって終わりではなくて、つくったメンバーがすべての学校を回りレクチャーし、若い先生からは質問をいつでも受け付けるというシステムをとっている。</p>

# 行政視察報告

委員会名	文教委員会												
視察日	令和元年5月14日(火)												
視察先	山口県山口市												
視察委員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">峯岸良至 委員長</td> <td style="width: 33%;">大高拓 副委員長</td> <td style="width: 33%;">高木信明 委員</td> </tr> <tr> <td>平田みつよし 委員</td> <td>牛山正 委員</td> <td>上村やす子 委員</td> </tr> <tr> <td>中村しんご 委員</td> <td>うめだ信利 委員</td> <td>鈴木信行 委員</td> </tr> <tr> <td>つたえりな 委員</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	峯岸良至 委員長	大高拓 副委員長	高木信明 委員	平田みつよし 委員	牛山正 委員	上村やす子 委員	中村しんご 委員	うめだ信利 委員	鈴木信行 委員	つたえりな 委員		
峯岸良至 委員長	大高拓 副委員長	高木信明 委員											
平田みつよし 委員	牛山正 委員	上村やす子 委員											
中村しんご 委員	うめだ信利 委員	鈴木信行 委員											
つたえりな 委員													

調査項目	<p>(1) 山口市の自学・自習の取り組みについて</p> <p>(2) やまぐち教育支援ネットワーク「やまぐち路傍塾」について</p>
事業概要	<p>(1) 山口市では、第二次教育振興基本計画に基づき教育施策に取り組んでいる。その中で、確かな学力を育むため、質の高い授業づくりのほか、自学・自習の定着を推進し、学校と家庭が連携して地域の人材の協力を得ながら自分で学習する習慣づくりに取り組んでいる。</p> <p>(2) 山口市では、学校教育・生涯学習の場で知識や技能を生かし学校や地域で活躍することで市民の学びを充実させるボランティア人材バンク「やまぐち路傍塾」を設置している。学習支援や文化・芸術など登録するジャンルも多岐にわたり、登録者も年々増加して、平成29年度は個人・団体あわせて2,437件の活動実績があるなど、市民の生涯学習活動や社会教育活動を充実させる仕組みづくりを進めている。</p>
視察内容	<p>(1) 自学自習の取り組み</p> <p>ア 2019年度の重点的な取り組み・3つの「つ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○つくる             <ul style="list-style-type: none"> <li>・本物の学力定着をめざした授業改革</li> <li>・主体的な参画、達成感のある教育活動</li> </ul> </li> <li>○つなぐ             <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼～中の学びと育ちのつながり</li> <li>・未来へつなぐ人材育成</li> <li>・ユニット型研修</li> </ul> </li> <li>○つむぐ             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、家庭、地域との連携・協働</li> <li>・信頼関係の構築</li> </ul> </li> </ul> <p>イ 山口市の地域未来塾</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭・学校・地域との連携、協働による学校づくり</li> <li>・地域未来塾</li> <li>・山口市協育ネット(地域学校協働本部)</li> <li>・社会に開かれた教育課程</li> </ul> <p>(2) やまぐち路傍塾</p> <p>山口市の教育支援ボランティア人材バンクで、学校や社会教育団体等の要望に応じて登録者に活躍してもらう制度</p> <p>ア 学校での活用事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援(授業での指導・支援)</li> <li>・読書活動支援</li> <li>・生活科、総合的な学習の時間等の支援(キャリア教育、ふるさと学習など)</li> <li>・学校支援(学校行事支援、環境整備、クラブ活動・部活動の補助・技術指導など)</li> </ul> <p>イ 地域での活用事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流センターでの講座や教室の講師・補助(パソコン教室、交流学習会など)</li> <li>・地域行事への支援(お祭りの太鼓演奏、体育祭の応援演舞等の盛り上げなど)</li> <li>・高齢者対象の企画事業での講師・補助</li> <li>・放課後子ども教室等のイベント講師</li> <li>・社会教育団体(PTA・子ども会等)のイベントの講師・支援</li> </ul> <p>ウ 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に設置要綱の改正、再登録(登録期間は2年、18歳以上の個人・団体)</li> <li>・学校教区支援は原則無償、生涯学習支援は謝金3,000円、片道8kmから交通費支給</li> <li>・活動中の傷病は、教育委員会が加入する傷害保険を適用</li> <li>・依頼に応じた人材紹介、日程調整と活動事例集の発行、のぼりなど啓発グッズ配布</li> </ul>
主な質疑内容	<p>(問) マッチングが必ずしもうまくいくとは限らないと思うが、コーディネーターが調整するのか。</p> <p>(答) 人数や時期をずらすなどコーディネーターが調整できるものは調整する。</p> <p>(問) 交渉力のある方がいるとすぐ進むが、学校間で温度差が出てくるのではないか。</p> <p>(答) 課題としてはある。そういう差が学校間にでないように、市としては専門的に扱うコーディネーターを配置しており、格差を埋めるために有効な手段となっている。</p> <p>(問) コーディネーターの判断は、教員と違うところもあるのではないか。</p> <p>(答) コーディネーターは学校運営協議会に参加し、学校の課題、地域課題、子どもたちの育ちについての協議から情報収集をして学校の抱えている学習習慣、学力、など課題を具現化するところから力を発揮している。</p> <p>(問) 路傍塾の登録をするとき、スキルチェックなどどういうふうに行っているのか。</p> <p>(答) 資料を提示する方もいるが、基本的にはチェックせず本人の申請による。</p>